

KIMOTO REPORT | 株主通信

第57期 2016年4月1日▶2017年3月31日

contents

- ▶ 株主の皆様へ
- ▶ トピックス
- ▶ 特集 コンサルティング事業
- ▶ 決算ハイライト
- ▶ 会社概要
- ▶ 役員一覧
- ▶ 株式の状況
- ▶ 株主メモ
- ▶ 1株当たり配当

株式会社きもと

証券コード: 7908

株主の皆様へ

株主の皆様には益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

2017年3月期連結会計年度(2016年4月1日から2017年3月31日まで)の決算をご報告申し上げます。

当社グループは、フラットパネルディスプレイを中心とした事業からIoT関連企業へのビジネス進化を目指し、2017年3月期より第四次中期経営計画(2017年3月期~2019年3月期)を推進してまいります。フィルム事業、データキッチン事業、コンサルティング事業の3つに事業を再編し、付加価値及び収益力の向上を目指します。当年度は中期経営計画の1年目として、フィルム事業はIoT技術に使用される高付加価値品の販売強化、データキッチン事業は技術スキルのマルチ化を図るとともに、空間情報事業関連会社とのパートナーシップを進め、需要変動に柔軟に対応する生産体制を構築してまいりました。コンサルティング事業は製造業向けコミュニケーションデザイン製品の開発及び販売を展開いたしました。

日本及び東アジアにおけるIoT関連製品向け高付加価値品の販売が増加したことにより、増収増益となりました。また、当社が保有する投資有価証券の一部売却により特別利益を計上いたしました。

これらの結果、当連結会計年度における売上高は15,606百万円(前連結会計年度比0.1%増)、営業利益は211百万円(前連結会計年度の営業損失は508百万円)、経常利益は292百万円(前連結会計年度の経常損失は522百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益は409百万円(前連結会計年度の親会社株主に帰属する当期純損失は1,640百万円)となりました。

皆様のご支援誠にありがとうございました。
おかげさまで営業利益が3期ぶりに回復いたしましたことをご報告申し上げます。

特に前期は皆様にご心配をおかけした成績でしたが、2009年から進めてまいりました

- 1) 企業体質改善
技術開発型企業への回帰
- 2) ワークフロー改善
業務の簡素化及び効率化推進
- 3) 働き方改革
在宅勤務や完全フレックス等

これらの取り組みが実り始めたことに加え、全世界の従業員が一丸となって工夫や努力をした結果が形になり業績回復に繋がりましたことをご報告いたします。

前期に発表しました第四次中期経営計画(2017年3月期~2019年3月期)の初年度はほぼ予定通り(収支トントン)で終了し、今年度も目標達成に向け皆で汗をかいてまいります。

以前にもご案内いたしました、第四次中期経営計画は年齢49歳以下の若い幹部で作成された計画で、若い力をベテランが全力でサポートし、実現に向け努力を継続してまいります。

まだまだ自慢できる業績ではございませんが、KIMOTOファンの皆様のご期待にお応えできるよう日々進んでまいります。

代表取締役社長

木本和伸



Taylors社と 資本業務提携

「第四次中期経営計画」の3事業の1つであるデータキッチン事業において、点群ビジネスの強化と更なる成長を目的として、TAYLORS AUSTRALASIA GROUP PTY LTD(本社:オーストラリア連邦ビクトリア州、以下「Taylors社」という)との資本業務提携を2017年4月3日付けで行いました。Taylors社は自社の都市計画、土木事業において、いち早くレーザー測量を取り入れた事業を展開しております。Taylors社のレーザー測量事業に関する情報、技術、知識等を、KIMOTOの点群ビジネスの強化に繋がりたいと考え、相互のリソース提供により、両社の事業拡大及び収益基盤の強化に繋がるものと考えております。

資本業務提携後の4月19～21日に、お互いの技術を更に進化させる目的で技術情報交流会「東京サミット2017」が新宿メインオフィスにて開催され、Taylors社とKIMOTOの技術交流が始まりました。



Taylors社との技術情報交流会
「東京サミット2017」の様相

GlassLACE™ @mシリーズ 新デザインを発売

ご好評いただいておりますガラス装飾用デザインフィルム「GlassLACE」の新デザイン22種類を発売しました。人気のある「和柄」は、需要が高まっている「和」でモダンな空間演出にご活用いただけます。「デザイングラデーション」は、オリジナルの柄を使った、透明感のある全く新しいタイプのグラデーションで、今までに無かった空間演出を可能にします。業界に先駆けて発売した「センターグラデーション」は、透明感にこだわったデザイン設計により、目隠しとしてご活用いただきながらも、空間を広くすっきりと見せることができます。シンプルながら完成度の高い図案は、ガラスの透明感を活かしながらレースのような豊かな装飾性で、適度に視野を区切ります。透明部分にハードコート層があるため、施工の際に傷がつきにくく耐久性にも優れております。

今後もお客様のご希望に添えるようなデザインを随時追加してまいります。



GlassLACE
利用例イメージ

高機能フィルム展に 出展

2017年4月5～7日に東京ビッグサイトにて開催されました、第8回高機能フィルム展に出展しました。IT機器だけでなく、家電や自動車、ロボット、工場の生産設備など、あらゆるモノがインターネットに繋がり、新たな価値を生み出すIoT。その仕組みを支える、KIMOTOのSurface Technology(表面加工技術)により生み出されたフィルム製品をご紹介します。長期にわたり安定した接着力を保つ、工程用保護フィルム「Prosave(プロセーブ)」、カーナビやメーター周りの裏貼り用として、優れた飛散防止性能を発揮する粘着フィルム「Safety Serve(セーフティーサーブ)」、カメラ・光学機器のマイクロレンズユニット用の遮光フィルム「カーボンフェザー」、フィルム表面の凹凸を利用してマット形状転写やマット膜を衣料に熱転写するなどの、表面素材づくりに活躍する離型フィルム「Releasy(リリースー)」を展示しました。

皆様のおかげをもちまして、盛況のうちに展示会を執り行うことができましたことを、心よりお礼申し上げます。



出展模様

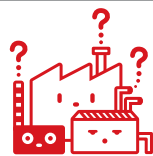
第四次中期経営計画の柱となる3事業の1つであるコンサルティング事業。

製造業における工場内のコミュニケーション活性化やワークフロー改善を通じて、お客様へ解決策を示しその発展を助ける事業です。

製造業60年のKIMOTOがなぜ今コンサルティングを始めるのか、そのきっかけからご紹介します。

1 きっかけはコミュニケーション不足による「現場力の低下」

KIMOTO の工場では様々な方法で情報共有を図ってきましたが、情報がうまく伝達されていないことにより、現場力の低下という課題がありました。



複数の建屋のため情報共有が非効率的



勤務交代の際伝達ミスや報告漏れが発生



本社と工場で情報共有が不足しがち



部署間の風通しが悪い相互理解ができない



トラブル発生時に迅速に解決できない

2 現場力低下の課題を解決するために生まれた「コミュニケーションデザイン」

コミュニケーションの手段をデザインすることにより情報伝達不足を解消して、業務がスムーズに進むよう手助けします。

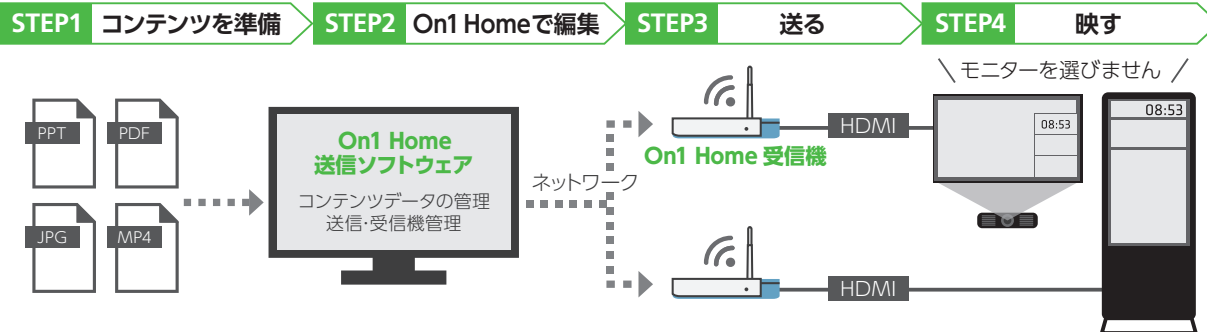
「伝える」から「伝わる」情報発信へ

自社開発のコントローラー
オーエヌワン ホーム
On1 Home

放映したいコンテンツの番組作成や放送計画などをOn1 Home で簡単に編集してモニターに配信することができます。



自立型モニター「CuraVision(キュラビジョン)」使用イメージ



3 効果を実感！社内改革からコンサルティングへ

KIMOTO のコミュニケーションデザインは情報伝達不足を解消することで、「交流の活性化」「関心度アップ」など、さまざまな効果をもたらしました。

製造企業への導入実績

80 拠点以上

サービス開始以来、国内80拠点以上でコミュニケーションデザインが導入され、現在も継続利用されています。

きもと社内のコンテンツ事例数

500 件以上

多様なコンテンツ制作の実績を活かして企業ごとの課題にしっかりアプローチします。

きもとが実践しているワークスタイル改革の数

37 件

コミュニケーションデザインを活用し、これまで37のワークスタイル改革を実践しています。これからは改革を継続していきます。

豊富な経験を元に企業ごとの課題を抽出

最高の解決策をカスタマイズして提案します。

決算ハイライト

	(単位:百万円)				
	2013年3月期 第53期	2014年3月期 第54期	2015年3月期 第55期	2016年3月期 第56期	2017年3月期 第57期
売上高	22,387	21,721	17,391	15,597	15,606
営業利益	2,373	2,448	△150	△508	211
経常利益	2,636	2,673	228	△522	292

会社概要

2017年3月31日現在

名称	株式会社 きもと
所在地	〒338-0013 埼玉県さいたま市中央区鈴谷四丁目6番35号
設立	1961年2月9日
事業内容	・電子・電気機器用、プリント回路用、光学機器用、情報記録用、環境測定用等各種フィルムの製造及び販売 ・コンピュータ出力用、設計用、印刷用、サイン・グラフィックス用等各種フィルム並びに用紙の製造及び販売 ・航空写真及び諸種図面の撮影並びに複製に関する事業 ・測量、デジタル写真測量、地図編集、地図印刷 ・コンピュータ情報処理サービス並びにソフトウェアの開発及び販売 ・農産物の生産、加工及び販売 ・酒類の販売 ・コンサルティング業務
従業員数	535名(単体)
取引銀行	(株)三菱東京UFJ銀行 (株)みずほ銀行 (株)りそな銀行 他
営業拠点	[国内]札幌、仙台、新宿、名古屋、大阪、福岡 [海外]台北(台湾)、蘇州(中国)、深圳(中国)
工場	三重県(いなべ市) 茨城県(古河市)
研究所	埼玉県(さいたま市)
海外関連会社	KIMOTO TECH,INC.(米国)、KIMOTO AG(スイス)、 瀋陽木本実業有限公司(中国)、木本新技術(上海)有限公司(中国)

(注) 当社は、2014年11月18日開催の取締役会において、経営資源の集約及び経営の効率化を図るため、連結子会社である瀋陽木本実業有限公司(中国)及び木本新技術(上海)有限公司(中国)について、前者を存続会社として合併することを決議しております。

役員一覧

2017年6月20日現在

代表取締役社長	木本 和伸	取締役	丸山 光則
常務取締役	笹岡 芳典	取締役	宮田 久美子
常務取締役	下里 桂司	取締役	太田垣 章子
取締役	鈴木 亮介	常勤監査役	湊 加津美
取締役	Miguel Noe Leal	監査役	帖地 マリ子
取締役	岡本 孝志	監査役	原口 純一郎

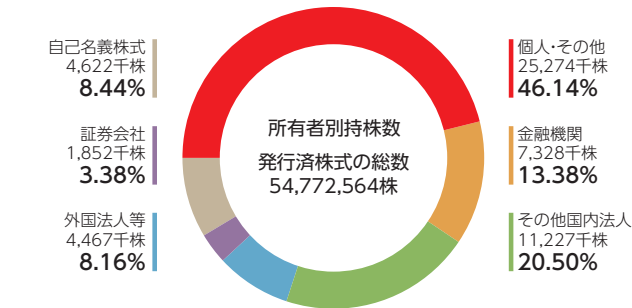


〒338-0013 埼玉県さいたま市中央区鈴谷四丁目6番35号
TEL:048-853-3381 FAX:048-853-9041

株式の状況

2017年3月31日現在

発行可能株式総数 90,000,000株
発行済株式の総数 54,772,564株
株主数 6,514名



大株主

株主名称	持株数[千株]	持株比率[%]
きもと共栄会	5,857	11.68
株式会社 精和	3,602	7.18
木本和伸	2,393	4.77
きもと従業員持株会	2,354	4.69
東レ 株式会社	2,104	4.20
株式会社 三菱東京UFJ銀行	1,640	3.27
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	1,561	3.11
東京中小企業投資育成 株式会社	1,484	2.96
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	1,070	2.14
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	1,067	2.13

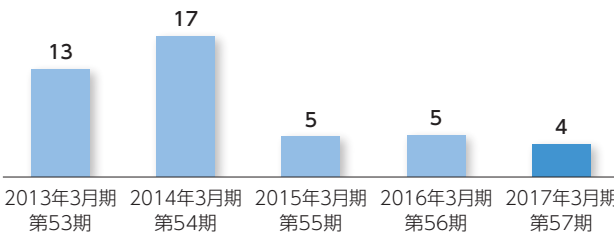
(注) 1. 当社は自己株式を4,622千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
3. 信託銀行等の信託業務に係る株式数については、当社として網羅的に把握することができないため、株主名簿上の名義での保有株式数を記載しております。

株主メモ

- **事業年度**
毎年4月1日から翌年3月31日まで
- **定時株主総会**
毎年6月
- **基準日**
定時株主総会 3月31日
- **剰余金の配当の基準日**
毎年3月31日及び毎年9月30日
- **単元株式数**
100株
- **株主名簿管理人**
東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
- **特別口座の場合**
郵便物送付先／電話お問合せ先
〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL:0120-288-324(フリーダイヤル)
お取扱店 みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
みずほ証券株式会社 本店及び全国各支店
公告掲載新聞 日本経済新聞

1株当たり配当

(単位:円)



(注) 2014年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

IRサイトのご案内

KIMOTO IR

検索

